

事故の加害者にも被害者にもならないために

釧路警察署では、悲惨な交通事故を一件でも減らすために、交通指導、取り締まりをはじめ、特に子どもや高齢者などの歩行者を保護するための取り組み、飲酒運転の撲滅に向けた取り組み、自転車やオートバイなどの2輪車による交通事故を防止するための取り組みなど、幅広い活動を行っています。

交通事故はドライバーをはじめとした人間の不注意によって起こるものです。交通事故の防止は警察のみの活動ではなく、町民の皆さん一人ひとりの自覚と行動が必要と考えており、交通安全を願う皆さんと一緒に活動をしていければと考えています。



北海道釧路方面釧路警察署
交通官 藤田大さん

交通事故を減らすためのさまざまな取り組み



6／町内で高齢者が亡くなる交通事故が発生したことを受け、4月15日に町と交通安全母の会（廣谷スマ子会長）、釧路警察署が合同で汐見町内会の高齢者宅43世帯を戸別訪問し、啓発チラシやLEDライトなどを配布し、交通安全を呼びかけました。**7**／釧路警察署では、独自に災害関連情報等のチラシを配布し、注意喚起を行っていました。



1／ライオンズクラブが交通安全の看板を設置（詳細は14頁） **2**／交通安全指導員会等が「春の全国交通安全運動」に合わせて、街頭啓発を実施（詳細は16頁）



3／4月12日、白糠中学校と白糠高校が合同で交通安全教室を開催しました。生徒たちは、自転車事故の再現映像が盛り込まれたDVDを視聴し、交通安全への意識を高めました。最後に生徒を代表し、有間千晴さん(白中3年)と手塚壘さん(白高3年)が白糠交番の小菅一範所長に交通安全を誓いました。**4・5**／4月14日、白糠小学校の全学年で交通安全教室を開催しました。